

Close Up

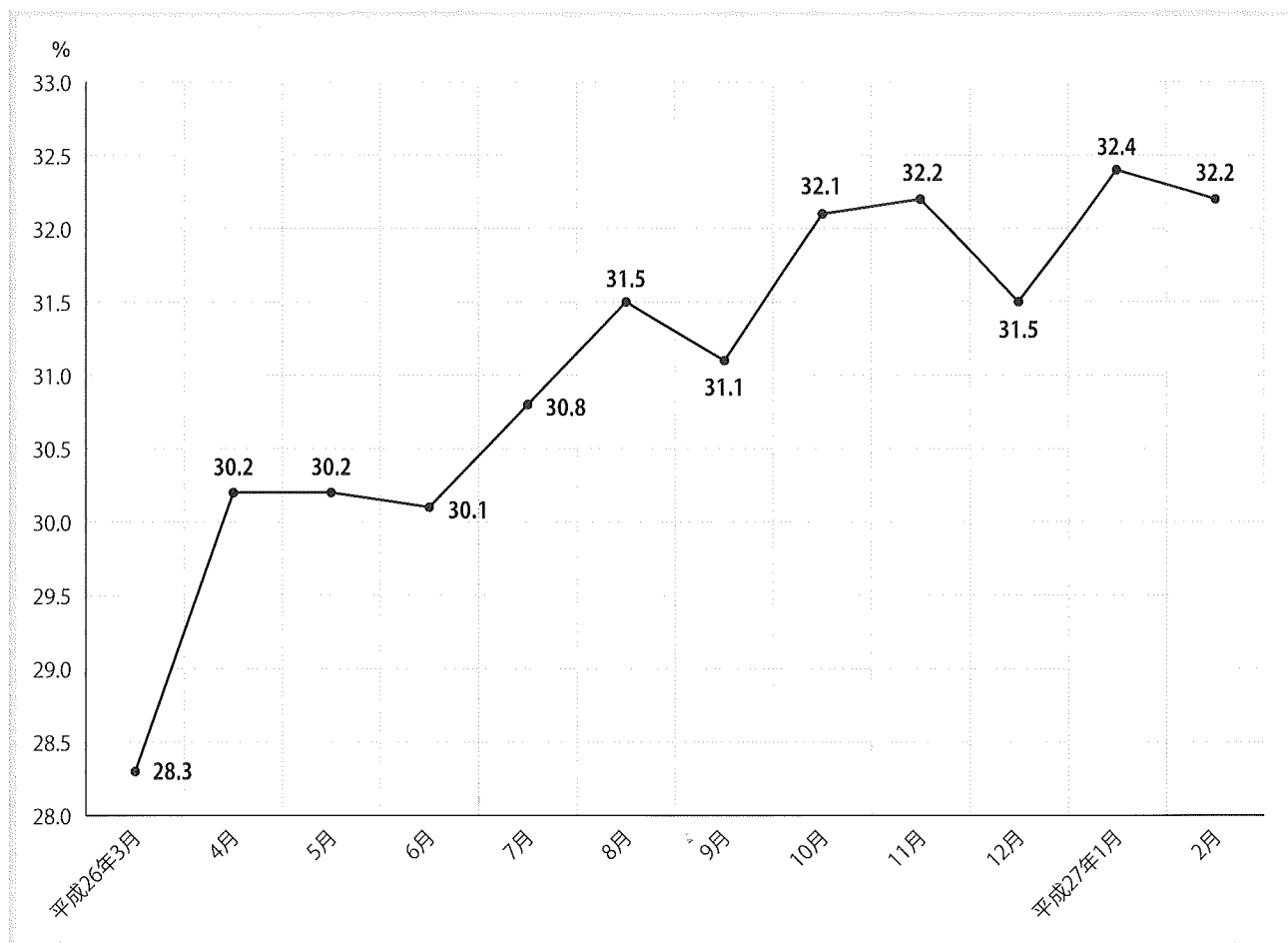
新薬と同等の効果で価格の安いジェネリック(後発)医薬品の使用状況を調査しました

ジェネリック医薬品の使用は増加傾向

当組合では、調剤報酬明細書のデータを基に、ジェネリック医薬品に変更した場合に500円以上の自己負担額の差が生じる方を対象に、「ジェネリック促進通知」を年2回送付し、ジェネリック医薬品の使用を推奨しています。

ジェネリック医薬品に変更することで、自己負担を減らすだけでなく、健保組合の財政を圧迫している医療費の削減にも効果があります。今後とも、ジェネリック医薬品の使用推進に、ご協力をお願いいたします。

ジェネリック医薬品使用率 平成26年3月～平成27年2月



平成26年3月と平成27年2月を比べると、3.9%増加しました。

➡ 次回のジェネリック促進通知の発送は、平成27年10月です。